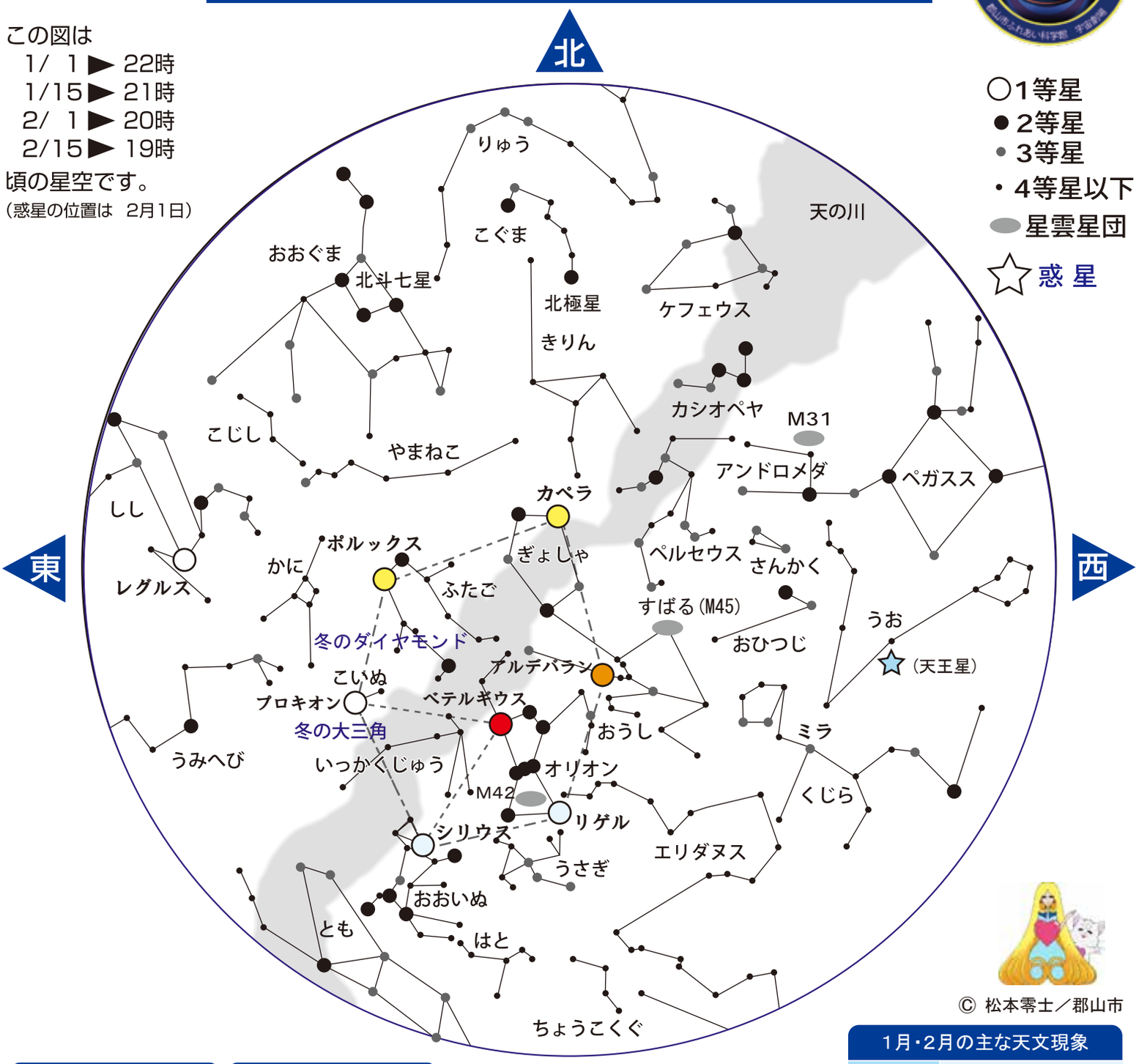
2016年 1月▶2月の星空

この図は
1/ 1 ▶ 22時
1/15 ▶ 21時
2/ 1 ▶ 20時
2/15 ▶ 19時
頃の星空です。
（惑星の位置は 2月1日）



© 松本零士／郡山市

郡山の日の出.日の入		
1/ 1	6:50	16:40
1/15	6:49	16:52
2/ 1	6:41	17:09
2/15	6:28	17:24

月の満ち欠け	
新 月	1/10, 2/ 8
上 弦	1/17, 2/14
満 月	1/24, 2/23
下 弦	1/ 2, 2/ 1

※上弦、下弦は半月です。
※天王星は肉眼では見えません。

1月・2月の主な天文現象	
1/ 1, 28	月と木星が接近
1/ 4	しぶんぎ座流星群が極大
2/ 4	立春
2/ 7	水星が西方最大離角

新年を迎え、きらびやかな星空に出会える季節がやってきました。凍えるような冷たい大気はよく澄んでいるので、この時季は１年で最も星がきれいに見えます。風邪をひかないよう、充分に暖かい恰好で空を見上げてください。

まずは、明るい１等星をたどって簡単な図形を作ってみましょう。オリオン座の「ベテルギウス」とおおいぬ座の「シリウス」、こいぬ座の「プロキオン」の３つを結ぶと、「冬の大三角」が出来上がります。三角形を作ることができたら他の図形にも挑戦してみてください。「プロキオン」と「シリウス」、そしてオリオン座の「リゲル」、おうし座の「アルデバラン」、ぎょしゃ座の「カペラ」、ふたご座の「ポルックス」を順番につないでいくと大きな六角形が出来上がります。これが「冬のダイヤモンド」です。冬の夜空に輝く大きな宝石をぜひご覧になってみてください。

星座の形をたどるには、目立つ星の並びを見つけてみましょう。オリオン座の場合は、２つの１等星とその間の三ツ星が目印になります。ふたご座は２等星の「カストル」と、「ポルックス」が仲良く並ぶ姿が目印です。

冬の星は街明かりのある場所でも簡単に見つけられるものが多いため、初めての星空観望にぴったりです。これから星を見たい方は、ぜひ晴れた夜に空を見上げてみてください。